

《履修上の留意事項》本講義は、留学生を対象とした初修外国語の授業である。日本語がネイティブの一般学生及び日本語能力検定1級（N1）を有する留学生を対象としない。

《担当者名》非常勤講師/シルヴィア・オレーヤージュ（哲学/倫理学博士・日本語教師）

### 【概要】

本講義では、日本語で行われている大学講義の理解に必要なアカデミック・ジャパニーズの習得及びそのスキルアップを目的とする。あわせて、留学生にとって理解が難しい、学術的な日本語表現方法に関する理解を深める。実践日本語（1）～（10）では、本学講師の実際の講義映像を用い、聞き取りを中心とした内容確認を行う。日本人講師特有の話法・表現方法を確認しつつ、講義のポイント・講師が強調したい点に意識を向けるように錬成する。あわせて、講義内容を要約し理解を深める。日本語4技能のうち、Listening及びWriting技能向上を主に目指す。

### 【学修目標】

- 解説に用いられる特有の学術的日本語表現を理解する。
- 留学生にとって理解の難しい日本語表現を認識する。
- 日本人に特有な説明時に用いられるジェスチャーを理解する。

### 【学修内容】

| 回  | テーマ            | 授業内容および学修課題   | 担当者           |
|----|----------------|---|---------------|
| 1  | 実践日本語序論        | ・一般的な日本語（日常会話）と学術的な日本語の差異を理解する。<br>・講義の説明で用いられる特有の日本語表現を理解する。 | シルヴィア・オレーヤージュ |
| 2  | 日本語表現と他外国語との差異 | ・留学生の母語と日本語の違いを認識し、母語の影響で理解が難しくなる日本語表現、聞き取りが難しくなる日本語表現を理解する。  | シルヴィア・オレーヤージュ |
| 3  | 実践日本語初級（1）     | ・実際の講義を聞き取り、内容を理解し、講義内容の要約を作成する。                              | シルヴィア・オレーヤージュ |
| 4  | 実践日本語初級（2）     | ・実際の講義を聞き取り、内容を理解し、講義内容の要約を作成する。                              | シルヴィア・オレーヤージュ |
| 5  | 実践日本語初級（3）     | ・実際の講義を聞き取り、内容を理解し、講義内容の要約を作成する。                              | シルヴィア・オレーヤージュ |
| 6  | 実践日本語初級（4）     | ・実際の講義を聞き取り、内容を理解し、講義内容の要約を作成する。                              | シルヴィア・オレーヤージュ |
| 7  | 日本語文法上級（1）     | ・これまでの文法学習事項の復習とN2上級レベルの文法項目の学習                               | シルヴィア・オレーヤージュ |
| 8  | 中間確認テスト        | ・（1）～（4）を基礎としたテスト内容、そして要約テストを通じて重要文法項目への理解を深める。               | シルヴィア・オレーヤージュ |
| 9  | 実践日本語初級（5）     | ・実際の講義を聞き取り、内容を理解し、講義内容の要約を作成する。                              | シルヴィア・オレーヤージュ |
| 10 | 実践日本語初級（6）     | ・実際の講義を聞き取り、内容を理解し、講義内容の要約を作成する。                              | シルヴィア・オレーヤージュ |
| 11 | 実践日本語初級（7）     | ・実際の講義を聞き取り、内容を理解し、講義内容の要約を作成する。                              | シルヴィア・オレーヤージュ |
| 12 | 実践日本語初級（8）     | ・実際の講義を聞き取り、内容を理解し、講義内容の要約を作成する。                              | シルヴィア・オレーヤージュ |
| 13 | 実践日本語初級（9）     | ・実際の講義を聞き取り、内容を理解し、講義内容の要約を作成する。                              | シルヴィア・オレーヤージュ |
| 14 | 日本語文法上級（2）     | ・これまでの文法学習事項の復習とN1レベルの文法項目の学習                                 | シルヴィア・オレーヤージュ |
| 15 | 日本語文法上級（3）     | ・レポート・論文作成の質を高めるための文法項目の確認をする。                                | シルヴィア・オレーヤージュ |

**【授業実施形態】**

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

**【評価方法】**

課題中に課す課題・宿題・授業への取組み等（20%）

中間確認テスト（30%）

期末確認テスト（50%）

**【教科書】**

講義で使用する資料は、必要に応じて講義毎に配布する。

**【参考書】**

講義で使用する参考資料は、必要に応じて講義毎に配布する。

**【備考】**

特になし。

**【学修の準備】**

授業中での配付資料（説明・課題・エクササイズ）の再読と練習問題（60分）

講義内容に関し復習を怠らない。特に、聞き取りにくかった表現、分りにくかった表現が、なぜ困難であったかの原因究明に務める（60分）。

**【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】**

DP2.「総合的に患者・生活者を支える歯科医療」を提供するために必要な高い倫理観、他者を思いやる豊かな人間性および優れたコミュニケーション能力を身につけている。（総合的に患者・生活者をみる姿勢、プロフェッショナリズム、コミュニケーション能力）

**【実務経験】**

2016年より大学院生を対象に日本語教育を実施（教育歴8年）。2021年日本語教師資格取得（養成講座420時間総合コース修了証取得）。

**【実務経験を活かした教育内容】**

外国人講師であるが故に、自身の日本語学習において困難に直面した経験から、なぜ、留学生にとって、特定の日本語表現・文法がわかりにくいのか、なぜ、大学での講義内容が聞き取りにくいのか、それらを教育内容に活かすことができるとの強みがある。日本語ネイティブにとって「当然」と考えられていることへの説明を日本語初習者は欲している。日本人講師では気づきづらい点への説明は日本語初修者の理解を大きく助ける。